

2012～2013年度国際ロータリーテーマ／奉仕を通じて平和を



山形中央ロータリークラブ クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」

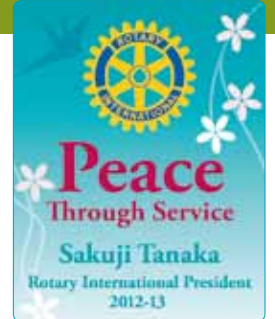


〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL (023) 632-7777 FAX (023) 624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30 (但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- | | | |
|------------------|----------------|------------------------------|
| ■ 会 長 鹿野 淳 一 | ■ 職業奉仕 遠藤 隆 一 | ■ 副 幹 事 江目 祐 一 |
| ■ 会長エレクト 板垣喜代志 | ■ 社会奉仕 長橋 正 人 | ■ 会 計 小林 敏 郎 |
| ■ 副 会 長 三浦 龍 夫 | ■ 新世代奉仕 安部 敏 敏 | ■ S A A 佐藤 吉 信 |
| ■ 直前会長 安藤 英 男 | ■ 国際奉仕 齊藤 眞 真 | 国際ロータリー会長 田中 作次 (八 潮 R C) |
| ■ クラブ管理運営 金子 将 人 | ■ 幹 事 伊藤 和 子 | 第2800地区ガバナー 和田 廣 (南陽東RC) |
| | | 第5ブロックガバナー補佐 千歳 徹 (山形イコングRC) |

◆日時／2013.6.11 12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／我等の生業



会長挨拶



6月に入り暑い日が続いています、体調管理には十分に気を付けてください。

今週は台風の影響でフェーン現象により一層気温が上がりそうです。

さて、東日本大震災から2年3か月が経過しました。被災地の復興・復旧はまだままだのようですが先日NHKの朝のラジオで震災時の総括をしておられる大学教授が話をされていました。内容は、震災時の緊急対応や各地の復旧工事における各地の中小企業の団体である協同組合や業界団体が大変な活躍をしてくれたといった内容でした。それまで中小企業

というのは空気のような存在だと思っていて、然したる重要性は無いものと考えていたそうですが実際にこうした災害が発生した際に現実に即した素早い対応が出来たのは各地の中小企業の団体だったということです。その中で山形の協同組合の活動も取り上げられていました、私が所属する組合がメイン取り上げられていたのには驚きました。各地の業界団体の重要性を見直していただければありがたいものだと感じたところです。

今日は、山形県観光物産協会 専務理事 渡辺修さんをお迎えして卓話をいただきますのでよろしくお願いたします。



板垣喜代志／先日、次年度クラブ協議会、第一回目を開催し、次年度に向けたスタートをきる事が出来ました。ワクワク、ドキドキしています。久びさのニコニコです。

鹿野淳一・伊藤和子／本日の卓話、渡辺様に感謝申し上げます。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	24名	—
修正出席	40名	40名	33名	82.5%
他クラブで メイクアップ された会員	(クラブ協議会) 板垣喜代志 三浦龍夫 鹿野淳一 江目祐一 小林敏郎 白田友二 池野良子 朝倉克尚 坂川好則 小泉俊哉 佐藤登美子 鈴木和善 伊藤和子 金子将人			



ゲスト卓話

「6月15日から始まる山形プレディスキャンについて」

山形県観光物産協会 専務理事 渡邊 修氏

当日お話しした内容のうち、配布資料にない部分は次のとおりです。

但し、私の記憶の中から抜粋しています。

観光とは「光を観る」ということ。光とは、地域の優れた(面白い)ものごと

・光は人により違い、有名観光地と考える人もいれば、農村景観・遺跡・街歩きをそう考える人もいる。

・昭和29年に書かれた「松下幸之助氏の観光論」を読んだ。日本の美しさを強調したうえで、外国人観光客を大いに誘致すべしとのことであった。氏の先見性は素晴らしい。

・現在、仙台・宮城のデスティネーションキャンペーン中。全国から多くの観光客が訪れている。

・JRの大人の休日倶楽部のCMでも、吉永小百合さんが出演し、宮城県内の素材がとりあげられている。

・新たなブームは次々に来る。武将、こけし。常にブームを見極めておく必要がある。

・有名観光地ばかりでなく、地域に眠る光る素材を掘り起こし、磨き上げる必要がある。

・山形市のまちなかにも、紅の蔵、御殿堰、料亭文化、文翔館めぐりなど多くの素材がある。

・山形の人は東京で山形のパンフレットをみかけるとうれしい、東京に出た人は山形のパンフレットを見かけるとなつかしく、そしてうれしい。

山形県観光物産協会 H25.6



山形県観光物産協会 H25.6

山形デスティネーションキャンペーン (DC) について

1 デスティネーションキャンペーンとは

地方自治体及び地域の観光事業者等が JR グループと連携して、対象エリア(デスティネーション)の集中的な宣伝を広域で実施することにより、全国からの誘客を図ることを目的とする日本最大規模の観光キャンペーン。

開催地は、地方自治体及び JR 各支社による立候補を受け、JR グループが選定。

※Destination(目的地・行き先)と Campaign(宣伝)の造語

2 デスティネーションキャンペーンの特色

県、市町村及び地域の観光事業者等が JR グループと連携した取り組みを実施することにより、個々の事業者では成し得ない大規模な観光誘客キャンペーンの展開が可能。

DCは地域おこしのきっかけであり、地域の方々が主体的に観光資源を掘り起こし、磨き上げ、おもてなしの心で「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりに取り組む地域文化発信観光キャンペーンである。

3 デスティネーションキャンペーンがもたらす効果

○観光は総合産業

地域を訪れる人は、宿泊施設に泊まるだけではなく、食事をし、おみやげを買い、施設を訪れ、ガソリンも入れる。

観光事業者ばかりではなく、農業者やサービス業にも波及効果がある。また、地域を訪れる人が増加することにより、住民の地域への愛着が高まり、新たな観光素材の掘り起こし、磨き上げにつながっていく。

○成功へのカギは全員参加

・道を尋ねた際、丁寧な対応があればその地域のイメージは一気にあがる。

・あいさつされれば誰もがうれしい。

・山形は宣伝下手? ⇒「うちの所には何も無いっす」のマイナス効果?

○今後につながるごと

DC後の10年間を見据えた「山形の新たな観光」を想像し、住んでよし、訪れてよしの地域づくりを継続的に実践

4 山形デスティネーションキャンペーンの概要

(1) 目的

県内の自治体、各種団体、民間事業者等が一丸となって、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光客受入態勢の整備・充実を図り、JR グループ6社(JR 東日本、JR 北海道、JR 東海、JR 西日本、JR 四国、JR 九州)の協力のもと、平成16年度以来10年振り6回目となる単独デスティネーションキャンペーンを実施する。

本キャンペーンを通じて、集中的な誘客・宣伝を大々的に展開するとともに、今後10年間を見通した「山形の新たな観光」の姿を提案・実践することにより、本キャンペーンを一過性のイベントとすることなく、将来にわたり山形県の観光力を高め、交流人口を拡大する契機とし、地域経済活性化の大きな推進力とする。

◇全县を対象とした本県の DC 開催状況

昭和57年度	紅花の山形路観光キャンペーン
昭和63年度	〃
平成4年度	〃
平成12年度	四季感動の山形 DC
平成16年度	おいしい山形 DC
平成26年度	山形 DC(10年ぶり6回目:全国第3位)

(2) 実施期間

平成26年6月14日(土)～9月13日(土)

プレ DC: 平成25年6月15日(土)～9月14日(土)

アフターDC: 平成27年6月～9月

(3) 取り組み

- ・心あたまる山形県民のおもてなし態勢づくり
- ・山形ならではの旬の観光素材の磨き上げ
- ・観光案内機能と二次交通の整備・充実
- ・県民、旅行者一人ひとりが担う情報発信
- ・全国に向けた強力な宣伝展開
- ・外国人旅行者の誘客促進

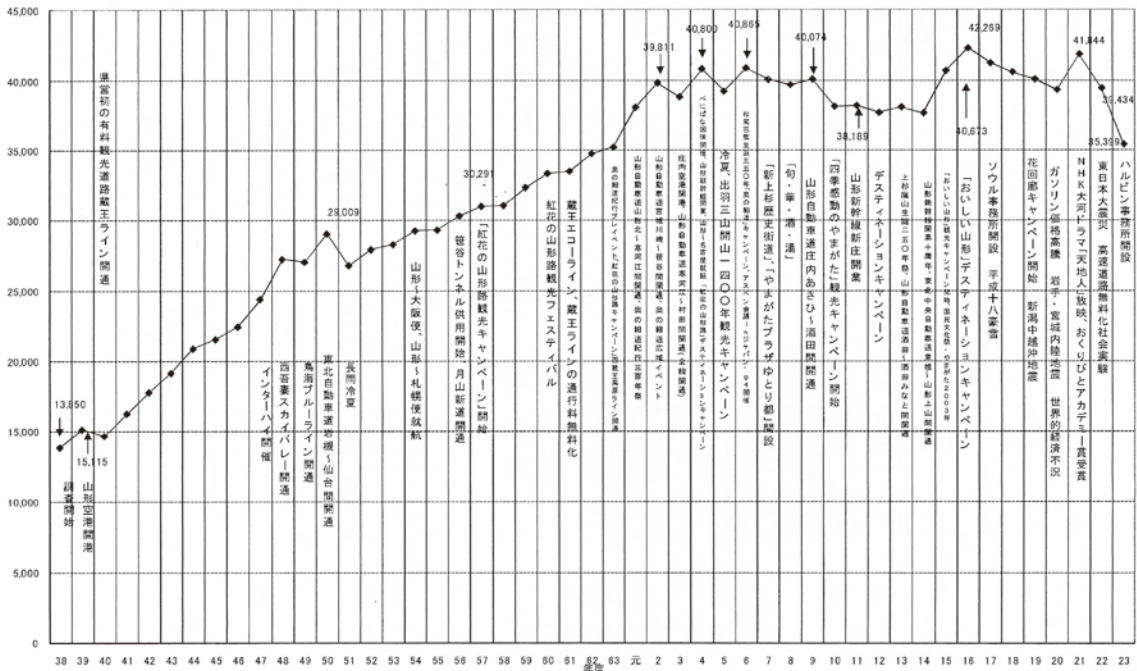
(4) 基本コンセプト

「日本人の心のふるさと美しい山形」を実現できる滞在型の旅の提案

- 懐かしさ(景観、自然、文化、祭り、暮らしなど)に出会う旅
- 美味しさ(食、食文化など)に出会う旅
- 温かさ(人情、おもてなし、温泉など)に出会う旅
- 奥深さ(精神文化、歴史、健康再生など)に出会う

(単位:千人)

図1 観光者数の推移



- 3 -

平成23年 外国人旅行者県内受入実績調査結果

商工観光部観光交流課
平成24年3月

調査対象期間:平成23年1月～12月
調査対象施設:県内宿泊施設98施設、立寄11箇所

(1)国別内訳 (単位:人)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	その他
宿泊者数	25,192	9,883	6,179	3,433	980	1,102	1,493	80	247	1,795
立寄者数	15,369	13,388	723	451	230	118	0	76	55	328
合計(延人数)	40,561	23,271	6,902	3,884	1,210	1,220	1,493	156	302	2,123
H22年受入数	83,722	57,979	7,250	9,211	1,744	2,261	791	523	663	3,300
対前年同期比	48.4%	40.1%	95.2%	42.2%	69.4%	54.0%	188.7%	29.8%	45.6%	64.3%

(2)受入地域別内訳

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	その他
村山	30,659	16,361	5,719	3,579	840	839	1,477	154	270	1,420
最上	3,343	2,631	455	63	7	0	0	2	25	160
置賜	1,648	1,162	71	103	50	197	0	0	7	58
庄内	4,911	3,117	657	139	313	184	16	0	0	485

※参考:前年の調査結果

○平成22年(1月～12月)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	その他
宿泊者数	40,049	20,240	6,303	6,519	1,093	1,938	776	188	423	2,569
立寄者数	43,673	37,739	947	2,692	651	323	15	335	240	731
合計(延人数)	83,722	57,979	7,250	9,211	1,744	2,261	791	523	663	3,300
対前年比	139.5%	131.3%	210.8%	191.1%	141.4%	163.8%	210.4%	76.7%	114.7%	98.4%

○平成21年(1月～12月)

	合計	台湾	韓国	香港	中国(香港除く)	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	その他
宿泊者数	25,981	14,905	2,612	3,332	813	760	352	188	424	2,595
立寄者数	34,048	29,264	827	1,488	420	620	24	494	154	757
合計(延人数)	60,029	44,169	3,439	4,820	1,233	1,380	376	682	578	3,352
対前年比	85.7%	95.9%	43.7%	59.3%	62.6%	79.0%	139.3%	135.3%	153.3%	106.1%

近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼デパート	山形南 ホテルキャッスル	山形 山形グランドホテル	山形北 山形グランドホテル	山形東 ホテルキャッスル
中山 料亭むらくま	山辺 料亭さつき	かみのやま 月岡ホテル	寒河江 グランデール寒河江	山形天童 滝の湯ホテル
天童西 ホテル王将	寒河江さくらんぼ ホテルソフォニー	天童東 天童ホテル		
山形イブニング パルスグランドール				

※欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。



山形中央ロータリークラブ クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」

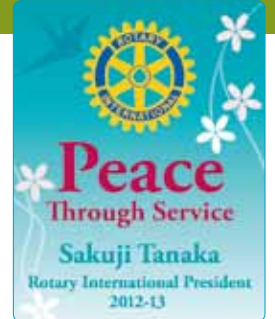


〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL (023) 632-7777 FAX (023) 624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30 (但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- | | | |
|-----------------|--------------|------------------------------|
| ■ 会長 鹿野 淳一 | ■ 職業奉仕 遠藤 隆一 | ■ 副幹事 江目 祐一 |
| ■ 会長エレクト 板垣 喜代志 | ■ 社会奉仕 長橋 正人 | ■ 会計 小林 敏郎 |
| ■ 副会長 三浦 龍夫 | ■ 新世代奉仕 安部 敏 | ■ S A A 佐藤 吉信 |
| ■ 直前会長 安藤 英男 | ■ 国際奉仕 斉藤 真 | 国際ロータリー会長 田中 作次 (八潮RC) |
| ■ クラブ管理運営 金子 将人 | ■ 幹事 伊藤 和子 | 第2800地区ガバナー 和田 廣 (南陽東RC) |
| | | 第5ブロックガバナー補佐 千歳 徹 (山形イコングRC) |

◆日時／2013.6.18 12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／それでこそロータリー



会長挨拶



6月16日、日曜日は恒例の歴史探訪ということで最上～庄内をめぐる旅にご参加いただきありがとうございました。残念ながら10名の参加でしたが楽しい一日になったと思います。

さて、あと少しでロータリー年度が変わります。私の年度も今日の通常例会と来週の最終例会を残すのみとなりました、一年間本当にありがとうございました。今年度最大のイベントでありました20周年記念式典を始め計画してきました事業すべて会員皆様のご協力により無事に終える事が出来ました改めて感謝申し

上げます。特に伊藤幹事はじめ理事役員の皆様、20周年後藤実行委員長はじめ委員会の皆様本当に一年間お支えいただきありがとうございました。来週の最終例会を残してすべて計画通り終える事が出来そうです。ただ、残念なのは今月で遠藤八千代さんが退会という事になってしまいました。これまで、クラブ運営にご協力をいただいてまいりましたが諸事情でいたしかたないとの事になりましたのでご報告いたします。

今日は、山形明正高等学校 菅野すみ子副校長先生をお迎えして卓話をいただきますのでよろしく願いいたします。

ニコニコ情報

鹿野淳一・伊藤和子／本日の卓話菅野様のお話に感謝申し上げます。また、16日(日)の歴史探訪愛好会は、川合さん、長橋ご夫妻、武田先達様のおかげで大変楽しい一日を過ごすことができました。ありがとうございます。また、一年間本当にありがとうございました。

奥山 宏／菅野先生、本当にありがとうございました。
佐藤吉信／会長、幹事さまごろうさまでした。最終例会をのぞいた最後の例会でした。
三浦龍夫／何年か前にチャレンジ50に参加させていただきました。大変勉強になり、いい経験をさせていただきました。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	24名	—
修正出席	40名	40名	35名	87.5%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形南) 武田耕一 長橋正人 (愛好会) 安部 敏 池野良子 伊藤和子 遠藤八千代 鹿野淳一 川合勝芳 武田晃士			



ゲスト卓話 「インターアクトクラブと 山形明正高等学校について」

山形明正高等学校 副校長 菅野すみ子氏

1. これまでの山形明正高校について

～「心を耕す教育」を目指して～

(平成 23 年 時事通信社「私学最前線」掲載より)

◆山形市南東部、蔵王連峰の麓に位置するわが蔵王高等学校は山形市街を一望に見渡し、月山・葉山を遠く臨める風光明媚で自然豊かな丘の上に立つ。

本校は、1961年高度経済成長のさなか「山形自動車工業高校(自動車科)」として開校した。1年後、現在地に移転し「蔵王工業高等学校」と改め、車社会のパイオニア高校としてその役割を果たしてきた。1982年には現在の情報機械科、翌年には自動車工学専攻科、1992年には普通科を設置した。その2年前には初の女子生徒が入学し、今では女子生徒が約25%を占める共学校として穏やかな中にも明るく活気ある学校に成長している。

◆これまでの本校の50年の歴史は、さまざまなピンチを力に変え、教職員が一丸となって個性あふれる教育づくりに取り組んできた歴史でもある。

その一番に挙げられるのが「生徒と先生と親が共に成長できる教育(共育)」をテーマとした『親子三大大行事』である。それは①蔵王高祭(学校祭)②親子交流会(体育祭&芋煮会)③チャレンジ50(米沢—学校間の約50キロを徹夜で歩く)で、それぞれが3年に一度開催される。いずれの行事も生徒だけでなく保護者や家族、地域の人たちも参加するという特徴がある。毎年の卒業文集にはこの三大大行事が数多く登場する。

◆次に、『何でも可能生』を合言葉にさまざまな教育の取り組みにチャレンジしてきたことである。例えば30年前、全国で唯一「交通安全」という教科を設定し(今年度からは「いのち」の授業に改訂)、生徒を信じてバイクを含む交通安全の指導を強化してきた。また、「わかる授業」にも長年取り組んできている。朝学習や少人数グループでの基礎的学習、体験や実習を重視した授業、資格取得のための講習会、進路実現に向けての朝学習・放課後学習会などなど…。そして、約20年前からは中学時代の不登校生を積極的に受け入れている。結果、「つらい荷物を背負った生徒たち」の成長ぶりは目を見張るものがあり、われわれ教師が励まされ勇気づけられることが多い。まさに生徒(子ども)の可能性は無限大である。教育の可能性は無限大である。

◆さらに本校では5年前から「ステージアップ蔵王」を合言葉に、これまでの「面倒見のよい学校」から、さらに教育活動の充実を図り、自信を深め、外に打って出ることでも生徒も教員も「やればできる」という実感づくりの改革に取り組んできた。具体的には、①あいさつ運動 ②部活動改革 ③「学び」のステージアップである。

①のあいさつ運動は、生徒との具体的な共有活動を通してステージアップを図ろうというもので、教師から積極的にあいさつや声掛けをするだけでなく、生徒会は現在「あいさつ東北一」を目指している。②の部活動改革は「改革委員会」を中心に多面的な分析やヒアリングが実施され5カ年計画が提起された。現在、質量ともに目標以上の成果が上がっている。そして③の「学び」のステージアップは、本校の大きな特色でもある「わかる授業」の取り組みから「自ら学ぶ授業」へと質的転換を図ろうとするものである。長年培ってきた教師と生徒の信頼関係を土台に、より積極的に自主的な学習の仕掛け、計画性や協調性、コミュニケーション能力などの社会性を培う実習授業、生徒の「心を耕す」教材の精選などの取り組みが、現在、各教科や学年で進行中である。

◆今年で創立50周年の節目を迎える本校は、校舎の移転新築を始めとする喜ばしい記念事業と並行し、今年度から「心を耕す教育」を目指して「新しい学校づくり」をスタートさせ、51年目からの新たな歴史を刻んでいこうとしているところである。

2. 現在の山形明正高校について

東日本大震災からまもない一昨年の4月1日、本校は「蔵王高校」から「山形明正高校」と校名を変更し、51年目のスタートを切った。

平成22年度から、毎月1～2回、「新しい学校づくり」について全教職員参加の意見交換会を持ち、検討を進めてきた。それは現在も続いている。

この間、新しい学校づくりについてさまざまなことを打ち出してきている

「学校」とは・・・学校は社会に出るための準備の場である。
学校は子供たちにとって温かい場所であってはならない。
※子どもたちは、寄り添い一緒に考えてくれる大人や仲間がいることで、自分を深く見つめながら人間らしい感覚を育み、自立してゆけると私たちは考える

↓

『明正宣言』として、教職員の決意を対外的に発信した。（資料参照）
さらなる教育の可能性に挑戦していく覚悟。（これまでの歴史の踏襲）

◇「選ばれる」学校に少しずつ変化
入学者数の増加

◇地域のとのつながりを大切に（市街地の学校）
チャレンジ50 たからもの 感謝のつどい ポスティング クリーンアップ作戦 etc....
「ここに明正高校があつてよかった」と言われる学校に

◇これまで入学して来なかった成績上位の生徒を引き受け伸ばしていく進路指導。
一般入試、国公立大学合格を目指した進学指導の強化

◇昨年度から「明正スタイル」に新たに挑戦
三科合同クラス・・・クラスの中に“社会”を作る
・より社会に近く、さまざまな価値観に出会える学校に
・コミュニケーション能力の育成
・「社会の中で生きていく力」をつける

◇多様な授業形態の広がり
・少人数授業の拡大
・科・コース単位の授業
・クラス単位の授業
・Team Teaching の授業

◇新校舎の挑戦
木をふんだんに使った校舎（旧校舎のあたたかさを継承）
教室からゴミ箱を撤去
あえて扉のない靴箱・ロッカー

◇特別支援教育への挑戦
20余年前から不登校生の受け入れ（卒業生 680名）
発達障がい・身体障がい者・精神疾患を抱える生徒・・・
2名の車いすの生徒の受け入れ（新校舎移転後）

近隣クラブ例会案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
山形西 大沼デパート	山形南 ホテルキャッスル	山形 山形グランドホテル	山形北 山形グランドホテル	山形東 ホテルキャッスル
中山 料亭むらくま	山辺 料亭さつき	かみのやま 月岡ホテル	寒河江 グランデール寒河江	天童 瀧の湯ホテル
天童西 ホテル王将	寒河江さくらんぼ ホテルソフオー	天童東 天童ホテル		
山形イブニング パレスグランドール				

※ 欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。